

東建パブリニュース

平成30年11月28日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

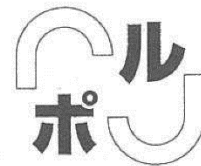
平成30年11月22日 日刊木材新聞 P. 6

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

木製品製造と物流の総合拠点

高効率生産のスマート工場

ナスラック出雲ダントニ工場



グループ内最大の木製品供給拠点である出雲ダントニ工場

東建グループの総合住設建材メーカーであるナスラック（名古屋、左右田稔社長）は、国内5工場の生産ネットワークを軸に資材・部材の安定供給と集約購買によるコスト削減を図っている。このうち出雲ダントニ工場（島根県出雲市）は、室内建具や家具、建材といった木製品の主力製造工場であり、西日本をカバーする物流拠点でもある重要な存在だ。品質追求と外販拡大に取り組んでいる同工場に取材し、概要や方向性をまとめた。

出雲ダントニ工場（平方メートル、倉庫2棟 確立した。現在、総勢は、出雲市長浜町の敷地（3000平方メートル、96人のスタッフで運営地3万6341平方メートル、28平方メートル）、2階建てしている。に、工場棟（7620平方メートル）で事務所棟などで構成している。1995年、主要製造品は室内ドに九州の名門企業ト扉、収納家具、耐震として知られた旧壁面収納、内装造作部段谷産業の出雲工場として開設し、2002年にナスラックの前身に当たる東建リーバが取得。製造ラインの追加や再編成を進め、親会社の東建コーポレーションのサポート・マシン向け及び外販向けの木製品供給をカバーする役割もあつた。集約住宅向けキッチンや洗面化粧台の供給基地として

工場内は明るく、整理整頓と加工機の集約化が行き届いていた

室内ドア型倉庫はASDのブローを、枠ライクに分けられ、可動ンでは幅木や回り縁、見切り縁、窓枠などを製造。キャビネット組み立てライクではコンパクトキッチンや洗面化粧台を、収納扉ライクではクロンではクロン

台の製造・組み立ても行っている。グループ向け以外の外販比率も伸びており、現在は約40%に達している。工場内は製品種目別4ラインとラッピング工程で編成され、最新の機械設備とコンピュータ制御で効率的かつ無駄を省いたスマートな製造工程を構築している。建具ラインでは工場棟南側にある大

は、出雲市長浜町の敷地（3000平方メートル、96人のスタッフで運営地3万6341平方メートル、28平方メートル）、2階建てしている。に、工場棟（7620平方メートル）で事務所棟などで構成している。1995年、主要製造品は室内ドに九州の名門企業ト扉、収納家具、耐震として知られた旧壁面収納、内装造作部段谷産業の出雲工場として開設し、2002年にナスラックの前身に当たる東建リーバが取得。製造ラインの追加や再編成を進め、親会社の東建コーポレーションのサポート・マシン向け及び外販向けの木製品供給をカバーする役割もあつた。集約住宅向けキッチンや洗面化粧台の供給基地として



工場内は明るく、整理整頓と加工機の集約化が行き届いていた

室内ドア型倉庫はASDのブローを、枠ライクに分けられ、可動ンでは幅木や回り縁、見切り縁、窓枠などを製造。キャビネット組み立てライクではコンパクトキッチンや洗面化粧台を、収納扉ライクではクロンではクロン

は、今年9月に制御システム等の更新などを実施したほか、来年1月にはラッピング関係のエッジバンダー（縁貼り機）の更新を予定している。

以上